

こざくら
だより

夕張岳ヒュッテ
完成祝賀会に寄せて

夕張市長 鈴木 直道

夕張岳ヒュッテ完成祝賀会の開催にあたり、一言、お祝いのご挨拶を申し上げます。

はじめに、ユウパリコザクラの会 藤井純一代表をはじめ、会の皆様のご尽力と多くの方々のご協力ご支援を賜り、新しい夕張岳ヒュッテが完成しましたこと、誠におめでとうございます。

當林署宿泊所の払い下げを受け、昭和四十六年に移築されました旧夕張岳ヒュッテは老朽化が著しい状態となっていましたが、平成十九年に本市が財政再建団体となつたことから、建替えの予算を確保することが困難な

状況となりました。そのような中、ユウパリコザクラの会におかれましては、建替えに対する募金活動を実施していただき、全国から

寄せられました建替え募金には六五〇万円を超える金額が集まつたとお聞きしております。夕張が改めて全国から支援されていることを実感いたしました。心よりお礼申し上げます。そして、この支援をもとに、地道で困難な作業を行い、完成に導いた会員の皆様の熱意とご努力に対しまして深甚なる敬意を表するものであります。

また、夕張岳と活動団体としてユウパリコザクラの会におかれましては、それまでの夕張岳の特徴ある自然の啓発や高山植物の保護活動などが評価され、平成二十四年度に日本山岳遺産基金より日本山岳遺産に認定されました。これまで幾多の困難に直面しながらも今日まで活動を推進されてきた会員の皆

第93号

2013.6.1 発行
(平成25年)

ユウパリコザクラの会
事務局
〒068-0412
夕張市鹿の谷東丘町3
水尾君尾方
TEL/FAX 0123-52-3306
携 帯 090-8632-8928
E-mail
kozakura@m8.dion.ne.jp
ホームページ
<http://yuparikozakura.org/>

様のご努力が実を結んだものだと思います。今後とも夕張岳の保全と豊かな自然の啓発、登山者の安全を守つていただければ思います。

結びになりますが、夕張岳ヒュッテの完成を重ねてお祝い申し上げますとともに、ユウパリコザクラの会の今後益々のご発展、さらには会員始めご出席の皆さまのご健勝とご活躍を祈念申し上げ挨拶といたします。



鈴木 直道 夕張市長 ご挨拶

平成二十五年度

総会を終えて

ユウ・パリ・ゴザクラの会

代表 藤井 純一

五月十八日午後からの夕張岳ヒュツテ完成祝賀会を控えた中ホテルシュー・パロで総会が行われました。新年度の始まりであり、一年の計画を決める総会は張りつめるものがあります。今年も昨年と同様盛りだくさんであります、夕張岳ヒュツテ建設三カ年計画が昨年度で終了し、新しいヒュツテで登山客を迎える画期的な年であります。また会創立以来四半世紀の節目の年であります。

会創立時は三十七歳、若かった。年に三十回以上も、木道運搬で一日一回も登つたこともあります。昔の体力はなく昨今は年数回しか登つていません。最近のヒュツテでの会話は薬のんだか?です。何ともさびしい会話です。会の課題の一つである若返りもまならない中、今年も昨年以上にやらなければならぬことがあります。皆様のご協力を切にお願いいたします。

会のNPO法人化は引き続き継続審議となりました。一年をかけて、学習を重ね来年には結論を出したいと思っています。またスノーモービル導入の件につきましては、今季の活用で有用であることが認識され、今まで個人のものであります。が、会の所有にすることが認められました。この時期会の出費がかさみますがご理解よろしくお願ひいたします。

ヒュツテ建設については計画立案に一年、資材調達に一年、施工に一年、資金集めに継続三年、短期間で出来たのも、全国の夕張岳、夕張市そして自然を愛する人々の一途の思いであったと確信します。

ヒュツテ建設は母屋の完成をもって、全国の皆さんにご協力をいたいた「一口千円一万人」の募金は終了しましたが、次に炊事場の建設が控えています。引き続き多くの方々のご支援を賜りたいと思っております。

ヒュツテ建設という大事業で素人集団が怪我無く成し遂げたことは、誇るべきことです。本職の自然保護活動も当然怪我なく事故なく、大いに楽しんで夕張岳いかれましょう。



総会風景



総会風景

春山パトロール

(平成二十五年三月二十三～二十四日)

に参加して

会員 阿部 博子

数年前、この時期の夕張岳吹き通し付近でスノーモービルが走行した痕跡があつて毎年春山パトロールを実施しているそうです。

今回私が初めて参加する春山パトロールはヒュツテまで約十四キロの長い林道の雪上歩きが最初の核心部ですが、一月の新・現ヒュツテの屋根雪下ろし他の作業に機材等の林道運搬に大活躍した藤井代表のスノーモービルが今回も稼働します。昨年の林道は想定外の深雪にスノーモービルが埋まり苦労したことを会のメンバーから聞いていましたが、今年は大丈夫のようです。

ベンケモユーパロ川に架かる工事中の橋を歩行することにしましたが欄干を覆い隠す程の雪が積もり、まるで四万十川の沈下橋のようです。橋は幅がたっぷりありますが、高さを思うとぞくぞくします。二時間弱程歩いた頃、林道終点まで荷物を運ぶため先に出発していたスノーモービルが戻つて来たので、そこからスノーモービルに繋いだザイルに捕

まりました。最初は少し怖いですが慣れるとなかなか爽快です。

林道終点の駐車場からヒュツテまではスキーガ先行しスノーモービルが走行できるようラッセルしながら雪を踏み固めて進みます。昼を廻った頃、赤い新ヒュツテの屋根が見えてきました。ヒュツテの手前では、スノーモービルが通れるようにスコップで除雪をして道を作りました。

心配していた屋根の雪は数日前の暖気で全部落ちていましたが、ヒュツテ入り口が雪で閉ざされ男性陣が雪を除けて階段を作つてくれました。ヒュツテに入り、安着祝いです。キンキンに冷えたビールの美味しさといつたら・・・！

夜は事務局長の水尾さんが下ごしらえして持たせて下さったキムチ鍋で温まり、明日のパトロールへの英気を養いました。

二日目は目標の雪の夕張岳パトロールです。吹き通し付近にスノーモービルなどの違法な乗り入れ等が無いかを調査します。六名が支度をして六時過ぎヒュツテを出発。リーダーの秦野さんに続いて冷水沢コースを登つて行きます。未明に降った雪がかなりの量だったようで何もかもが真っ白です。春山だというのに真冬のよう代交代でラッセルしながら時間が掛かります。夏道の馬の背分岐付近で



夕張岳へ向けてのパトロール

新夕張岳ヒュッテ完成に

地域文化交流会

副代表 秦野 公彦

ユウパリコザクラの会は、五年前夕張市から夕張岳ヒュッテの管理を委託され会員がボランティアで管理してきました。

花の名山としての夕張岳は、年間四千人からの登山者と四百人近いヒュッテの利用者で賑わいます。

しかし、五十年余り経つて老朽化した夕張岳ヒュッテは、毎年修理をしながら使用してきました。何とか建て替えできないだろうかという多くの会員からの話がありまして、そこで平成二十二年から三年計画で「一口、千円、一人」をキヤツチフレーズに募金を呼びかけてまいりました。



ユウパリコザクラの会
藤井代表

最初は、思うように募金が集まらず、このままでは三年どころか五年でも出来ないので心配しました。しかし、会員みんなが何とかしよう、登山者、山岳会、地元企業などにも支援を呼びかけ、また学校の廃材などを無償で貰い受けたりして、昨年の十月に外装が完成しました。

この三年間、募金にご協力して頂いた方々、また重機やオペレーター等、無償で提供して頂いた企業の方々、そして手弁当で作業をお手伝いして頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

五月十八日、ゆうばりシユウパロホテルにて、市内外から百二十余人の方々にご出席頂きヒュッテ完成を祝い地域文化交流会が開催されました。

初めに、ママさん「コーラス」「ホールポピー」による「花の夕張岳」など四曲を美しいハーモニーで祝賀会の開幕をステージから流し、会場の雰囲気を盛り上げて頂きました。

挨拶に立った藤井代表から、「多くの方々のご支援とご協力により今日の祝賀会にこぎつけることが出来ました。内装工事を少しずつ進めて、今後は次世代に引き継ぎ、夕張岳

の拠点としていくので、これからもご支援お願いします」と挨拶。

来賓のご挨拶では、夕張鈴木市長から「全国の皆様から、暖かい善意の協力でヒュッテが完成され、これからも登山者の拠点として安心して登山できる」とに感謝申しあげます」と挨拶。空知総合振興局長から祝電を頂き、北海道森林管理局長津元頼光様のメッセージを空知森林管理局長桃木泰雄様から披露されました。

その後、ユウパリコザクラの会として、夕張岳には蛇紋岩など特殊な地形であることで固有種が生育していること。それが国の天



ままさんコーラス コールポピー



北海道・生物多様性
保全課長 三木 靖 様



アポイ岳ファンクラブ
田中正人 様



空知森林管理署長
桃木泰雄 様

然記念物に指定されたこと。你的活動として
夕張岳の盗掘防止バトロール、エゾシカ対策、
アポイ岳ファンクラブ、雨竜沼湿原を愛する

会、雌山自然保護協議会との交流登山、産
炭地域子供交流事業、日本山岳遺産認定授与、
創立二十五年を記念しての記念誌発行に取
り組んでいたこと等プロジェクトで二十五
分間に亘り上映しました。

上映後、夕張市議会議長高橋一太様による
祝杯で祝宴にはいりました。

その後、北海道銀行、秀岳荘、北海道庁、
北海道自然保護協会、ほべつ田舎 de ハウ
ジカル、アポイ岳ファンクラブ、日本山岳会

北海道支部、雌山自然保護協議会等の代表
の方々から暖かいスピーチを頂きました。特
にヒュッテ管理運営委員会副代表長谷川雄助
からヒュッテ建設に至るまでの熱い思いを
語ってもらいました。

閉会には、夕張市教育委員会教育長小林
信男様に終わりの締めをして頂き、盛会に終
了いたしました。

なお、会場には「新しいヒュッテ建て替え
ものがたり」として、沼の沢仮設現場での作業、
廃材の運搬、建替え場所での棟上、屋根破
風板張り、トタンふき等のパネル写真三〇枚
余を展示しました。

出席して頂いた多くの皆様からすばらしい
祝賀会と感謝頂きました。

準備をした水尾君尾事務局長はじめ、当
日会場でお手伝いして頂いた会員のみなさま
ほんとうにお疲れ様でした。



ご出席の皆さん

新ヒュッテ内装工事に向けて

会員 菊池 宏治

新しいヒュッテの内装工事に向けて、まず作業場の暖房用ストーブ設置の為三月三十日に出かけました。まだ外は氷点下で外装の隙間も未処理なので、小さなストーブだけではすぐには暖かくならないが、無いよりはましである。やかんを乗せておけば、カップラーメンなどはすぐに食べられるし、廃材や木屑は燃料になる。

二回目は四月一〇日に四名で出向いた。スノーモービル（以下モービル）の機動力を当てにしてスキー無しで出発。林道入口手前の産廃物埋設施設作業現場までは除雪がされていて車で進入できる。そこからはモービルでの進行である。程なく前日の物と思われる熊の足跡が林道に沿つて続いている。その足跡を追うように進むが、思わぬアクシデントが待っていた。

この時期、林道には何箇所かの斜面で小さな雪崩が発生するが、今回は途中の斜面で土砂崩れが発生していて、防護ネットの

一部が破れて土砂が林道を埋めてしまつた。破れなかつたネットにしても、土砂と瓦礫が溜まつた下部が大きくなんだ状態で、歩いて通るのも危険な感じがする。四つ足で爪を持つ熊はその上を越えて行つているが、沢側は二十㍍ほどの急峻な崖になつていて落ちたら危険である。崩れた崖の上部にはまだ落ちきれていない岩があつて、雪解け水が染み出しているのがわかる。

通過するにも時間を掛けていては危ない。半ば今日はここで引き返しな、と思つていたら、藤井代表が、「行ける」と「一サイン」。手で土砂をどけながらモービルが通過できるだけの幅を平らにする作業が開始された。雪も降り出す中、約一時間半位かけて十五分程を整地して難所を無事通過した。林道終点の駐車場近辺まで来ると、重い新雪が三十㌢位積もつていてモービルでの進行も難儀するが、歩いて道を付けながらようやくヒュッテに到着。入口を除雪してヒュッテの中に入りホツとして昼食をとることができた。

派手な外装工事と違つて、内装工事は一人でも出来る作業が多く、細かな細工や工夫を活かすことも出来るので楽しい。指示を受けながら、壁になる部分の溝彫り作業や枠のはめ込みなどを進める。特に設計図



崩壊した林道

のような物は無いので、逐次代表に確認しながら材料を切つたり、調整の為に削つたり、実際の寸法を計り直したり、平行や垂直を計つたりしながら内装工事の基礎部分は着々と進行していく。外は真冬のような吹雪模様が続いていた。

無事に一日半の作業を終えて帰路につくが、幸い新しい土砂崩れは無く無事帰還することができた。

その後、代表をはじめ有志の方が延べ数日内装工事を行つている。夏山シーズン到来で、個人的には週末は予定万歳だが、今年だけしか出来ない作業なので、機会があればまたお手伝いに伺います。

会のうごき

2月

- 6日 熊谷・伊藤特定建設工事共同企業体 夕張シーパロ作業所様へ感謝状贈呈
- 12日 25周年記念誌編集会議 3名 平成25年度花博協会助成申請 プレゼンテーション(大阪) 杉浦
- 25日 夕張岳ヒュッテ完成祝賀会 共催により 市教育委員会担当者との打合せ
- 27日 役員会 9名

3月

- 1日 会報「こざくらだより」第92号発行
- 10日 ヒュッテ林道 下見 藤井
- 15日 役員会 6名
- 16～17日 冬季ヒュッテ点検巡回 4名
- 19日 平成25年度幸福の黄色いハンカチ基金 プレゼンテーション 代表
- 23～24日 夕張岳春山パトロール 8名
- 25日 エゾシカネットワーク高山植物食害対策事業報告会(道庁)出席 3名
- 26日 夕張岳ヒュッテ完成祝賀会について 市教育委員会担当者との打合せ
- 29日 エゾシカネットワーク総会 (かでる2・7) 出席 4名
- 30～31日 夕張岳ヒュッテ内装工事準備 2名

4月

- 2日 平成25年度花博協会助成活動決定 事務局会議 4名
- 12日 空知森林管理署、空知総合振興局訪問 当年度の活動計画について 事務局長
- 19日 夕張市・市教育委員会教育長 訪問 代表、事務局長
- 20～21日 夕張岳ヒュッテ内装工事 4名
- 25日 役員会 6名
- 26～29日 夕張岳ヒュッテ内装工事 1名
- 30日 2013年度高山植物保護ネット総会・代表者会議 出席 4名

5月

- 3～6日 夕張岳ヒュッテ内装工事 4名
- 11日 事務局会議 4名
- 12日 ヒュッテ林道巡視 4名
- 18日 第25回定期総会 ゆうばりホテルシーパロ 15名
- 18日 夕張岳ヒュッテ完成祝賀会 ゆうばりホテルシーパロ レースイの間 市長、森林管理署長他官民関係者、関係団体、会員、賛助会員等 126名 祝電 空知総合振興局長 山根康徳様 メッセージ 北海道森林管理局長 津元頼光様 他
- 19日 ヒュッテ林道巡視 2名
- 20日 市教育委員会訪問 祝賀会お礼報告 北海道自然保護連合代表者会議 出席
- 25日 札幌市区民センター 1名
- 25～26日 夕張岳ヒュッテ内装工事 2名

平成25年度 花博記念協会助成活動

平成22年より実施してきた、夕張岳におけるエゾシカによる高山植物食害対策事業については、平成25年度(財)国際花と緑の博覧会記念協会の助成事業が決定し、防鹿柵設置による調査を継続することになりました。

6月下旬から9月にかけての作業です。会員皆様のご協力をお願いします。参加問い合わせは事務局までお問い合わせください。

新ヒュッテ 内装工事の助つ人さん募集

6月22日からヒュッテの管理人が常駐しますが、ほぼ毎週の土日には通称棟梁の藤井代表が管理人になる予定です。

自称日曜大工さんや木工作業が好きな方々が、棟梁と共に内装作業を担ったり、手伝ったりしていただけだとヒュッテの完成が早まります。

他に作業場周辺の清掃や跡片づけ、食事を用意したりお茶を出したり雑用もあります。新ヒュッテ完成作業へ関われる、関わりたい方は事務局へご連絡ください。

鈴木夕張市長を 夕張岳に登らせ隊

コザクラの会では、今年も鈴木市長を花の夕張岳にご案内したいと思ってます。

過密なスケジュールを調整していただき、心身リフレッシュのための一日をプレゼントしたいものです。



昨年6月30日に登頂した時の写真です

第1回 森林パトロールボランティア

登山シーズンを迎え登山道の補修整備、コースロープ設置兼清掃登山を行います。

併せて炊事棟の仮設やヒュッテ開き準備作業もあります。人手が必要です。奮ってご参加ください。

**日 時 平成25年6月15日(土)15時半集合
～16日(日)17時(予定)解散**

**集合場所 清水沢お買い物駐車場
(解散) 車を乗り合わせてヒュッテに向かいます。**

参加申込みは 事務局まで。

◎鹿島林道ゲートより約3km地点で土砂崩れがあります。早い復旧が待たれます。

ヒュッテ開きのご案内

平成25年度のヒュッテ一般利用が開始されますので「ヒュッテ開き祭」を行います。

6月22日(土)14時から

どなたでも参加できます。
お申込みは事務局まで。

中間報告 No10…

ヒュッテ建替え一万人委員会より
第10回報告(5/20現在)

900名 6,766,015円

みな様の暖かいご支援によりお陰様で新ヒュッテの外形が完成し、5月18日に関係者のご出席のもとヒュッテ完成祝賀会を開催することができました。

引き続き内装工事や炊事棟建設等を進める必要がありますので、「ヒュッテ建替え一万人委員会」の名称は終了しますが、今後も「一口千円」のご支援を賜りたくよろしくお願ひいたします。

会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

お陰様で当会は来年度25周年を迎えます
夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方、ヒュッテ建築に関わってみたい方は会事務局までご連絡お願い致します。

**年会費 2,000円 家族会費 3,000円
名義 ユウバリコザクラの会
郵便局振込口座 02780-9-43747**

研修会開催

高山植物盗掘防止パトロール 「安全登山と装備」について

近年高齢者の登山人口増加とともに登山中の事故が多発しています。夕張岳において登山者の安全面の確保に努めて高山植物の盗掘を未然に防ぐ様、保護活動を進めていくための研修会です。どなたでも参加できます。

**日 時 平成25年6月15日(土)
13時30分～15時**

**会 場 市民研修センター 清水沢宮前町
講 師 長谷川 雄助
元日本山岳会北海道支部長**

入場無料

第5回産炭地域 こども交流事業参加者募集! 記憶に残そう ふるさとの山

自然は最大の教育者です。夕張岳の大自然の中で思いつきり自然との深い絆の尊さを学びませんか。

**日 程 平成25年7月20日(土)13時～
7月21日(日)15時**

会 場 夕張岳ヒュッテ周辺及び夕張岳

参 加 対 象 子供、小中高生どなたでも参加できます(小学生以下は保護者同伴)

参 加 費 参加費 無料

募 集 人 数 募集人数 30名

募 集 期 間 募集期間 7月12日まで

内 容 <1日目>

- ①体験学習 ②ロープ遊び
- ③丸太切り ④川遊び
- ⑤夕張岳の花や山のお話し

<2日目>

- ①夕張岳登山 ②流しそうめん
- ③その他

参 加 費 無料

募 集 期 間 7月12日まで

**参加希望の方は事前に事務局へ
お申込みください。**